



## 外国出張報告書

平成 26 年 9 月 16 日

1. 出張国名       マレーシア
2. 出張月       平成 26 年 8～9 月
3. 出張目的       セラングール海域におけるハイガイ漁場調査：C

#### 4. 成果の概要

マングローブにおいて重要な生態的地位を占めるハイガイの持続的生産を達成するため、対象海域に適した生態系モデルを作製し同漁場の環境収容量を評価する。

また、同モデルを基に漁場に最適な漁業管理手法を導き出すとともに、これらの結果を地域レベルの漁業管理に反映させることを本課題では主目的としている。今回の出張では、生態調査で不足する知見を補完するための、

各主要漁場でハイガイの成長率調査を継続実施した。

本調査については今回の 8 月末調査で最終回とし、これまでの試料分析およびデータ解析を進めている。

また、セラングールにおけるプランクトンのモニタリング調査を実施した。

マレーシア水産研究所 (FRI) のカウンターパート、水産局バイオセキュリティセンターおよびマラヤ大学のプロジェクト各関係者と打合せを実施した。

また、本出張ではマレーシアの半島東部の漁業実態を明らかにするため、

トレンガヌの SEAFDEC およびコタバルのマラヤ大学臨海実験所を訪問し、

現地研究者からの聞き取りおよび今後の協力体制について打ち合わせた。